



# 沖縄特集

# 沖縄から日本が変わる

## なぜ今、沖縄なのか

南北約400キロメートル、東西約1000キロメートルの海域に浮かぶ島々からなる沖縄。東京をはじめとする本土の主要都市から遠距離であることや、100以上の島からなるなどの理由から、これまでは経済的に不利とされていた沖縄が今、注目を集めている。その背景にあるのは、アジアの急速な経済発展である。近年、中国やインドをはじめアジア諸国は目覚ましい成長を遂げており、生産拠点の立ち上げや新規市場の開拓などを目的に、日本企業の進出は後を絶たない。

## 沖縄からアジアの主要都市へは飛行機で4時間圏内という近さだ

そうした中、アジア各国の近隣に位置する沖縄の地理的優位性が、日本とアジアをつなぐ架け橋として大いに期待されている。実際、既にビジネス界ではさまざまな動きが見られる。例えば、全日本空輸（ANA）が2009年10月から那覇空港を国際貨物の拠点とし、ソウル、上海、台北、香港、バンコクといったアジア主要都市と国内空港とを結ぶ物流ハブ事業をスタートさせるなど、業種業態を問わず、アジア展開を図る企業の多く

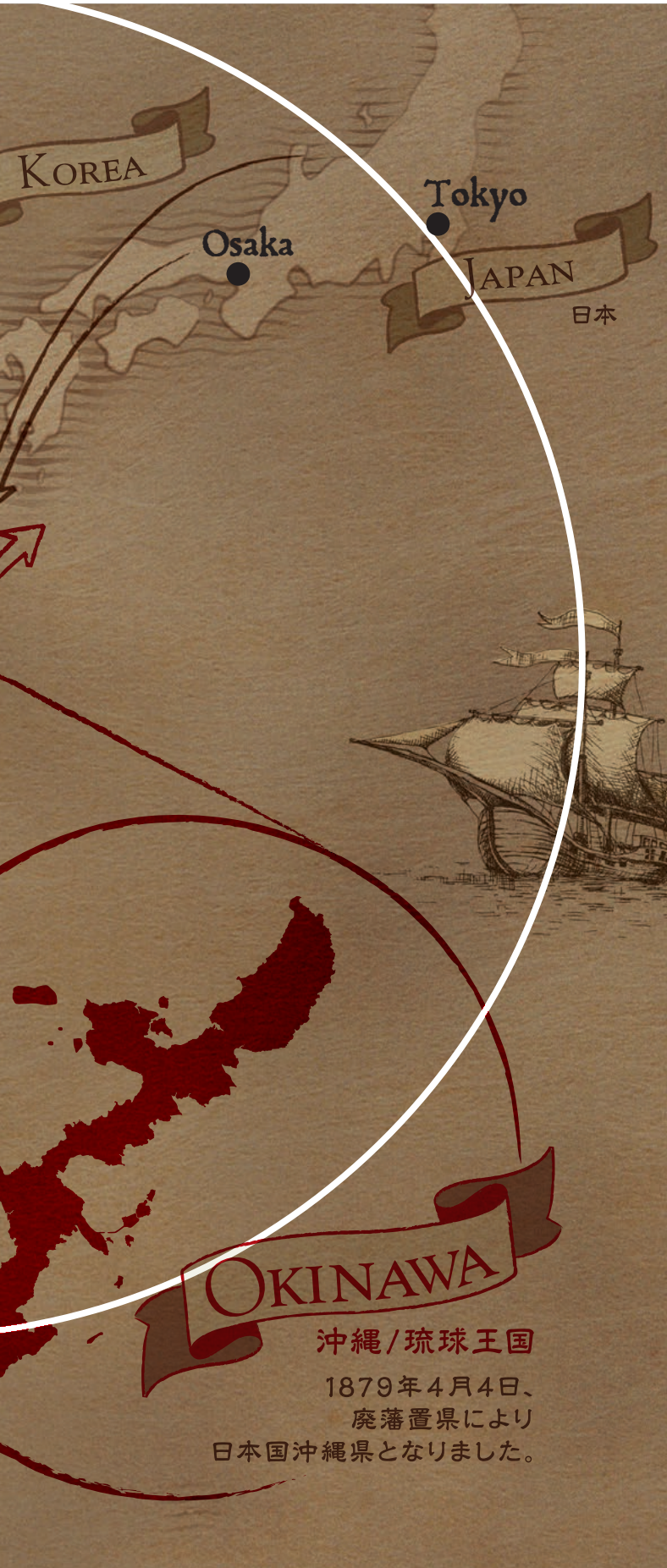
が沖縄という立地に目を向け始めている。

一方において、政治面では領土問題、軍事問題、海をめぐる権利問題などで、各国共に危機感が増している。

このような状況下で、東シナ海、太平洋の境目に位置する沖縄は、地政学上においても、また経済交流においても重要な位置を占めており、その役割に対する期待値も高まっている。トランプ・アメリカ大統領の発言により、いま沖縄の動向に、アジア諸国が、いや世界各国が注目している。



2017年は、トランプ新大統領と面談して沖縄米軍基地問題を解決すると勝手連の上野副会長へ説明する光永勇会長



沖繩/琉球王国

1879年4月4日、  
廢藩置県により  
日本国沖繩県となりました。

かつての琉球王国(沖縄県)は、アジア諸国と交易を行う、フロンティアスピリットにあふれた独立国家でした。

CHINA



日中関係の改善に向けて、光永会長と小沢一郎民主党幹事長(当時)と民主党議員、一般参加者が訪中



翁長雄志・沖縄県知事と  
光永勇・全国勝手連連合会会長



400Km 圏

Miyakojima

TAIWAN

PHILIPPINS

VIETNAM

CAMBODIA

沖縄中心に半径3千キロメートル(日本の端から端までの距離は約3千キロ)を描いた圏内に入る国の人口はおよそ、23億人で日本一国のおよそ20倍の市場があります。

- ①日本 1億2,725万人 ②韓国 4,900万人 ③北朝鮮 2,476万人 ④中国 13億8,477万人 ⑤台湾 2,306万人 ⑥フィリピン 9,671万人 ⑦インドネシア 2億4,686万人 ⑧シンガポール 530万人 ⑨マレーシア 2,924万人 ⑩ベトナム 9,079万人 ⑪カンボジア 1,486万人 ⑫タイ 6,678万人 ⑬ラオス 664万人 ⑭ミャンマー 5,279万人 ⑮バングラディッシュ 1億5,469万人 ⑯ブータン 742万人 ⑰モンゴル 279万人